

令和4年度（城郷高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	公務員、特に教職公務員としてその責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	職員相互及び管理監督者とのコミュニケーションを大切にし、お互い声を掛け合い、情報や問題を共有しあえる職場環境づくりに努めた。不祥事防止会議では指導助言だけではなく同僚性を意識した内容を取り入れ教職公務員としての自覚を促し、自覚とモラルの向上、法令遵守等について意識を高めた。
職場におけるハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	他者の人権を尊重し、良好な職場環境に努め、各種ハラスメントを防止する。	職員啓発資料や事例集を参考に、ハラスメントに関する理解を深めるとともに、新聞発表事例を、職員室内に設けた「管理職掲示板」を通じて、随時の啓発活動を行い、職場の人権意識を高めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	教職員によるわいせつ事案の根絶に向けた提言を踏まえた取り組みを行い、教職員による不祥事を防止する。	生徒の人権について、職員啓発資料や事例集を参考に職場研修を実施するとともに、情報や問題を共有しあえる職場環境づくりに努めた。また、携帯電話・SNSの適切な使用について職員間だけではなく、生徒に対しても意識啓発の向上に努めた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	職員啓発資料や事例集を参考に生徒の人権侵害に係る不祥事防止を周知し、研修会を開催した。また、生徒の指導は複数の職員で担当するとともに、他教員の目の届く場所で行い、不適切な言動による指導の未然防止を徹底した。
成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止及び入学者選抜に係る事故防止	全職員が当事者意識を持って業務にあたり、生徒の一生を左右しかねない重大な事故につながることを理解し、業務を行う。	定期試験実施や成績処理にあたり、全職員でマニュアルに基づく適正な業務遂行を確認し、共通理解を徹底した。また、調査書・推薦書ならびに通知票等の作成・発行に係る事故、入学者選抜における事案について全職員に周知徹底し、適正な業務遂行ができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の適切な取り扱いに努め、個人情報の漏えいを未然に防止する。	情報セキュリティの点検や全職員を対象とした職場研修を実施し、意識の向上を図った。また、個人情報に係る適正な取扱いを周知し、個人情報持ち出しに係る許可手続きを徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、安全意識を高め、車通勤途上及び週休日や長期休業中の交通事故の発生を未然に防止する。	職員啓発資料を基に職員全員を対象とした職場研修を実施した。また、日常的に交通法規の遵守を呼びかけ、意識の向上に努めた。
会計事務等の適正執行	私費会計基準に則して適正に会計処理を行う。	公費・私費の適正管理に努め、相互チェック体制を徹底した。また、財務事務調査の指摘事項を全職員で共有化し、改善を図った。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

毎月計画的に不祥事ゼロプログラムの課題項目に取り組むとともに、新聞発表事例を、題材に常に当事者意識を持たせることを職員に呼びかけてきた。今後も様々な場面において、当事者意識を心がけることで、常に事故の未然防止に努めていく。

- ・不祥事防止研修では管理職からの一方通行ではなく、同僚性を意識した内容を取り入れ、今後も継続していく。
- ・不祥事防止は、繰り返し取り組むことで未然の防止に努めていく。
- ・日常の中で、常に教育者・公務員としての意識を持ち、社会規範やルールを遵守する姿勢を徹底する取組を強化していく。
- ・職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、チーム学校で仕事に取り組んでいる意識を高めていく。
- ・ワークバランスを見直すよう呼びかけ、時間外の勤務時間を削減する。